

2006年3月1日

鎌倉市長 石渡徳一様
鎌倉市教育長 熊代徳彦様

図書館とともだち・鎌倉
代表 黒瀬聖子

要望書

日頃より鎌倉市の教育行政にご尽力いただきありがとうございます。

図書館職員の皆様にも資料の貸し出しのみならず、読書相談や当会活動へのご協力等、大変お世話になっております。おかげさまで、「本が好きで、図書館が好きで、鎌倉の町が大好き」との思いで始めた私どもの活動も9年目にはいっております。

さて、この度、鎌倉市の図書館職員について以下の通り要望させていただきます。

要望事項

図書館正規職員の年齢別構成の是正を要望します。

鎌倉市の図書館は、図書館法に則り設置された公共施設です。その存在意義は法律でも定められている通り、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保有して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資すること」にあります。図書館は古今東西にわたって収集保存された情報の宝庫であり、十進分類法によって整理された多岐にわたる資料群は欠かす事のできない貴重な市民の知的財産です。また、老若男女誰でも、いかなる障害があっても、いつでも、どこでも、無料で、様々な形の情報を得る事のできる町の公共図書館は、市民が主体的にまちづくりに参画する際の支えとなる最も大切な公共施設といえます。なぜなら、そこには中立で公正な情報が幅広く備えられ、公平に提供されているからです。図書館は民主主義社会に不可欠な情報提供機関といっても過言ではありません。おりしも本年度7月には文字・活字文化振興法が制定され、国においても図書館の環境整備の重要性が大きく取り上げられていることはご承知のとおりです。

また、鎌倉の図書館は2011年には開館100周年を迎えます。これだけの歴史をもつ図書館は日本でも数えるほどしかなく、鎌倉市が誇りをもって世界に紹介できる文化施設の一つと言えます。世界遺産登録を目指す本市にとって、ユネスコ公共図書館宣言を見据えた図書館は欠かすことのできない知的文化財産といえるのではないのでしょうか。実際、先日も中央図書館近代史資料収集室発行の冊子がアメリカの大学図書館から寄贈依頼を受けるという誇らしい出来事がありました。同図書館はアジア関係の書物を有する、北米でも最大の図書館の一つと言われております。

このように、鎌倉の図書館は文化都市鎌倉の中核を担う重要な施設の一つですが、その管理運営については中長期にわたる図書館施策ビジョンとともに、いわゆるヒト（司書）・モ

ノ（建物）・カネ（資料費）の整備が必要と考えます。そして、その中でも特に優先されるべきは「ヒト」の存在であろうと存じます。有能で熱意のある専門司書の存在です。鎌倉市民一人ひとりのために、どのような資料を、いかなる優先順位でそろえていくか、それをどのように提供し保存していくことが市民にとって最も有益で効果的であるかなどを考慮し、決定する仕事は、地域に根ざし、長年の経験を積んだ司書でなければできない極めて専門的な仕事です。しかも、司書資格をもっていけば直ぐに良い仕事ができる訳ではなく、日々の経験を積んでいく中で初めて優秀な司書は育っていきます。司書資格取得のハードルが日本に比べて高いとされている欧米の図書館界においても、一人前の司書になるためには10年はかかるといわれています。

さいわい鎌倉市の図書館では司書職制度をとっており、職員、非常勤嘱託職員ともに有資格です。その上、土日祝祭日の開館を含む年間約340日の開館、週2日の夜間開館、インターネット検索・予約サービス、ブックスタートサービス、宅配サービス、など先進的なサービス拡張が毎年のように次々に行われていることは全国的にも高く評価されているところと聞いています。また、来年度には子ども読書活動推進計画策定や100周年事業への取り組みなどが予定されており、さらに充実した仕事が期待される場所でもあります。

しかし、残念なことに、十数年にわたって新規の正規職員が採用されておりません。その結果、現在の図書館職員の年齢構成は30代後半2名、40代15名、50代10名、という極めて憂慮すべき事態となっております。

私どもは行財政改革の重要性をもとより十分認識しているところですが、限られた予算だからこそ、より高い見識と長期の展望をもった施策が求められる時なのだと考えます。未来のまちづくりびとである子どもたちのためにも、心豊かな晩年をのぞむ中高年のためにも、様々な障害をもつ人々のためにも、刻々と変化する世界の情報を必要とする働き手のためにも、そして未来の鎌倉市民のためにも、図書館の存在する意義を十分に認識し、継続性と専門性と公共性が確保された図書館を心より望んでおります。

100年かけて築かれた貴重資料の収集保存とその提供は、鎌倉市の職員がこれまで責任をもって継承し、培ってきました。同時に、これからも、ベテランから中堅へそして若手へと引き継がれていくべき仕事でなければならないと存じます。しかし、近い将来、ここ十数年の無補充期間の結果が現実化するとき、現在までなんとか果たされてきた幅広く、質の高いサービスを持続することが可能かどうか、大変疑問に思い、不安が募ります。100年にわたる図書館の歴史を享受できる現在のみならず、100年後の鎌倉の図書館に対する責任をも、私たち市民は担っていると考えるからです。

以上の理由により、私たちは、専門知識をもち熱意をもって図書館の仕事に取りくんで下さる図書館正規職員の年齢別構成の是正を強く要望したいと存じます。どうぞ迅速なご配慮をよろしくお願い申し上げます。

尚、ご回答は文書にてお願いいたします。

以上